

事業所における自己評価結果

(放課後等デイサービス)

公表： 令和2年 3月 25日

事業所名：放課後等デイサービスみつばち

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		雨天時の、室内での活動の仕方について、検討が必要。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		基準上は、満たしているが、実質は、もう数名必要。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車椅子リフト対応の車両の設備や平屋建ての建物を使用。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		振り返りはなされているが、もう少し時間が欲しい。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			日々の送迎時に意向等を把握しながら、面談の際に、確認をしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	本年未実施。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部及び法人内、施設内研修へ参加。 来年度も個々の支援者の課題に沿った研修へ参加予定。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス支援計画を作成しているか	○			保護者との面談や学校との支援計画の共有などをしながら、日々の子供たちの様子を、職員間で話し合い、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			同じような活動プログラムになりがちであるが、少しずつ変化を加えるようにはしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		障害の特性により、どうしても制限ができてしまうことがある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定しているか。		○		大枠での課題は決められているが、細やかな設定はもっと必要と思われる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ずミーティングを実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎の関係で終了後は、注意事項の連絡をし、利用者表への書き込みなどをもとに、翌日の開始前に振り返りをし、情報共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日報の記録をもとに、申し送り時や会議等で検証をしている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者との面談や学校での様子を聞きながら、日々の様子などを会議で振り返り、計画に反映させている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。		○		

関係機 関や保 護者 との 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか。	○		日々の申し送りや保護者への配布資料の受け渡し等、学校へのお迎え時に行っている。また、放課後等デイサービス連絡会に学校の先生方にも参加していただき、事業所への連絡事項等、意見をいただいている。また、特に健康面は日々、確認している。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在は、医療的ケアの必要な利用者はいないが、過去には、医療ケア意見書を依頼。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		毎年ではないが、就学前に利用していた児童発達支援事業所の見学等に、行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修には、可能な範囲で参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		活動の一環として、児童館に行くことはあるが、積極的な関わり合いは、行えていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域自立支援協議会児童部会へ参加
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際や面談の時に、共通理解を図ってる。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか			○	職員が、ペアプロやペアトレの研修には、参加しているが、今の所、行えてはいないため、今後活かしていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会は、開催できていないが、行事等に家族で参加してもらい、交流や連携を図ってもらっている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			法人のマニュアルにのっとり、対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		グループの会報に、事業所の様子を掲載。活動の様子は、写真等を保護者に見てもらい、子どもたちの新しい発見は、個別に報告している。今後、定期的なお便りの配布も実施していきたい。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所としては行っていないが、本体施設と合わせ、祭り等の行事に参加している。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		職員間では、周知されているが、保護者に対しては、再度確認する必要がある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内研修で定期的を実施。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			同意をいただき時間等記録を残している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				対象者なし。 今後対象者が利用される場合は医師の指示を依頼する。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			会議等で、検証してる。

○この「事業所における自己評価結果」は、事業所全体で行った自己評価です。